# 第４次館山市総合計画『前期基本計画』に関する意見

| 提案委員 | 資料番号 | 委員からの意見 | 担当課 | 回答 |
|---|---|---|---|---|
| 石井敏宏委員 | 2-4 | №12シルバー人材センターの受注件数が毎年、右肩下がりであるが、その理由を分析してもらいたい。 | 高齢者福祉課 | 人口の減少に伴いシルバー人材センターへの依頼件数も減少しています。<br>さらには雇用制度の変革等により会員の高齢化が顕著で、受注できる件数が限られている状況があります。シルバー人材センターの受注件数について、引き続き分析してまいります。 |
| 石井敏宏委員 | 2-4 | №22看護師等修学資金貸付制度利用者数が毎年、右肩下がりであるが、その理由を分析してもらいたい。 | 健康課 | 若い方の数が減っていることが理由です。それに伴い看護師を目指す方も減っているため、利用者数も減っています。看護師養成の専門学校及び大学の定員割れもあります。 |
| 石井敏宏委員 | 2-4 | 海水浴場の不開設の際に、ジェットスキーのマナーが問題になったから、県条例で規制を強化するように県に要望してもらいたい。（№57海水浴場入込数） | 観光みなと課 | 委員ご存じのとおり、現在、水上オートバイのマナー向上に関する千葉県の条例は、「千葉県迷惑防止条例」第10条（海水浴場等における危険行為等の禁止）のみしかなく、館山市が「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」を制定した平成２７年度以降、何度か市長や県議が県警本部へ行き、要望しています。また県議に県議会の定例会においても要望していただいたこともございます。しかしながら未だに規制の強化や県条例の制定には至っていないことから、今後も継続して要望をしていきます。<br>また、すべての水上オートバイ愛好家のマナーが悪いわけではなく、それ以外のマリンスポーツでも駐車場の利用などで問題が生じています。<br>館山市では、今後も官民の関係機関等と連携し、海浜空間の利用者が安心・安全に楽しめるようマリンレジャーに来る方たちのマナー向上に努めて行きます。 |
| 石井敏宏委員 | 2-4 | №82道路排水整備延長であるが、目標値の３割にとどまった。予算を拡充してもらいたい。また、財政支援を県と国に要望してもらいたい。 | 建設課 | 道路排水整備については、市の単独事業であるため、厳しい財政状況ではありますが、一定規模の予算確保に努め、順次整備を進めてまいります。 |
| 石井敏宏委員 | 2-4 | ごみ排出量の削減には、処理費用の値上げも有効である。また、ごみは削減努力が可能であるから、今後は長期的に段階的な値上げをしていくことを検討してもらいたい。（№91 1人1日あたりごみ排出量） | 環境課 | ごみ処理手数料について、現在、具体的な値上げの計画はありませんが、今後、ごみ処理に要する費用や利用者負担、近隣自治体の状況などに応じ改定する際は、ごみの削減や不法投棄への影響にも配慮の上、検討して参ります。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 石井敏宏委員 | 2-4 | 備蓄食糧量は台風前の状態に戻すべきではないか。（No.98備蓄食料量アルファ米） | 危機管理課 | 備蓄食糧量については、目標値（30,000食）を確保できるよう、取り組んでまいります。 |
| 石井敏宏委員 | 2-4 | 民間宿泊施設でWi-Fiがないと不便を感じる客もいる。まずは市内の状況をつかんで欲しい。（No.112民間宿泊施設へのWi-Fi整備支援箇所数） | 情報課 | 観光協会等にご協力をお願いし、市内の状況把握に努めます。 |
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい（No.42短期人間ドック助成事業） | 市民課 | ３次評価の令和元年度末までの助成件数の平均値は「ほぼ目標値」であったが、令和２年度末までの平均値では目標値を下回ったため下方修正としました。 |
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい（No.44健康増進事業） | 健康課 | 令和元年度の台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めて行う健康教育や健康相談等ができなかったためです。 |
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい（No.92社会体育施設の整備充実） | スポーツ課 | 当初予定していた工事を計画的に実施した他、台風被害復旧やコロナ感染症予防対策工事を実施したことで、計画よりも前倒しして改修が進んだためです。 |
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい<br>（No.128水産振興支援事業、130畜産振興支援事業、138漁港利活用事業） | 農水産課 | No.128（水産振興支援事業）<br>３次評価では、事業費が計画額より下回っていたため、目標をやや下回るとしましたが、減額の要因としては、千葉県水難救済会補助金の減額であり、この補助金は漁協の水難救済会への負担金について補助を行っているものであり、漁協の合併により補助対象組織の減及び水難救済会からの負担金額の減によるもののため、事業内容として「おおむね目標どおり」としました。<br><br>No.130（畜産振興支援事業）<br>当初「おおむね目標どおり」としましたが、事業費が当初の計画額より大きく上回っているため、「目標を上回る」に上方修正しました。<br><br>No.138（漁港利活用事業）<br>３次評価では、R1決算見込みに誤りがあり事業費が計画額より下回っていたため、目標をやや下回るとしましたが、今回見直しを行い、事業費として当初の計画額に対し「おおむね目標どおり」としました。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい（№159市営住宅の適切な管理） | 建築施設課 | 159　市営住宅の適切な管理<br>船形漁民住宅長寿命化工事について、当初は平成30年度と令和元年度に改修を行う予定でしたが、令和元年台風15号等の影響により繰越を行い、令和2年度に完了しています。令和元年度の評価時では工事未完了のため、「3目標をやや下回る」としましたが、5ヶ年計画で見ると、令和2年度の評価時で工事は目標通り完了しているため、「2おおむね目標どおり」と変更しました。 |
| 鈴木ひとみ委員<br>室厚美委員 | 2-2 | ３次評価から達成度を変更した８事業のうち、上方修正したものが多いが、その根拠を示してほしい（№177河川整備維持補修事業） | 建設課 | H30及びR1事業においては、土木施設災害復旧事業が多かったことで、河川維持補修事業の遅れが見られましたが、R1までの要望箇所については概ね完了したことにより、上方修正しました。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | 健康教室を開けなかったのは、やむを得なかったが徐々に再開の動きもあり、良いと思う。 | 健康課 | ご意見ありがとうございます。アフターコロナに向けて市政運営の参考といたします。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | №42短期人間ドック助成事業、もっと広報すべきである。存在を知らない人も多いのではないか。 | 市民課 | 現在、広報紙やホームページのほか健診案内の際に広報を行っていますが、今後も機会をとらえ効果的な周知を図ってまいります。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | 公共施設の改善費用を捻出する工夫も必要だと思う。（№92社会体育施設の整備充実） | スポーツ課 | 活用可能な財源を確保するため、補助金（学校施設環境改善交付金やスポーツ振興くじ助成金等）にも注視していきます。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | №128水産振興事業、№138漁港利活用事業が目標通りと言える根拠は何か。漁業従事者数、漁獲高の推移を示してほしい。 | 農水産課 | 根拠については上記記載のとおりです。<br><br>従事者数（人）（漁協正組合員）<br>H27：296、H28：287、H29：221、H30：218、R1：235<br><br>漁獲量（ｔ）<br>H27：3078、H28：3439、H29：3140、H30：3407、R1：3592<br><br>漁獲高（百万円）<br>H27：823、H28：923、H29：895、H30：931、R1：795 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | №130畜産振興事業　新たに始まった大規模酪農の経営は順調か。 | 農水産課 | オープン後、７月が経過したが、概ね順調であると伺っています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-3 | 令和元年房総半島台風後に改修した洲宮川は今年の７月３日の大雨でも溢れた。更なる対策が必要ではないか。（№177） | 建設課 | 洲宮川及び合流する茂名川については、土木施設災害復旧事業及び河川維持補修事業にて対応しており、R3以降も引続き対応の予定です。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-4 | 福祉分野の自立支援、農業、起業、企業誘致など多くの市民から望まれている分野が弱い。なぜ進まないか検証する必要があると思う。 | 社会福祉課<br>農水産課<br>雇用商工課 | 福祉分野の自立支援については、高齢者や障害者などの各分野の個別計画等において、ＰＤＣＡサイクルに基づき、引き続き自立支援の推進に務めてまいりたいと思います。<br>また、高齢化や後継者不足による農業者の減少や小規模・低収益など課題となっています。<br>さらに、企業誘致については一朝一夕にできる取組ではないものと認識しているところですが、多くの市民から望まれている分野でもあり、ご意見のとおり、これまでの取組内容を検証し、必要な見直しや効果的な事業の実施に努めていきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 2-4 | 移住者の増加、リノベーションの広がりは今後の進展に期待したい。定着のための後押しも必要ではないか。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、移住・定住を促進する取組を引き続き推進していきたいと考えています。 |
| 室厚美委員 | 2-3 | 事業No.221 公聴体制の充実<br>①市政懇談会は、北条地区で毎年開催とのことですが、 なぜ北条地区だけなのか？どのようにアナウンスしているのか？ 他の地区の人も参加できるものなのか？<br>②４回実施したのはH２９年だけか？<br>③H30年は、北条と九重地区で実施、ということか？<br>④次頁No.222のまちづくりモニター制度について、これをNO.221に統合するということは、新しい制度はやらないということか？ | 企画課 | ①北条地区「市長を囲む会」は、北条地区の主催により、毎年開催されています。その他、計画策定時には各地区でのタウンミーティングや出前講座による市長との意見交換を実施しています。昨年度もタウンミーティングを計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、代替手段として、各地区公民館での意見募集を実施しました。<br>②H29年度は、市の主催により、各中学校の体育館を会場に４回実施しました。<br>③その通りです。九重地区では、約3年ごとに九重地区の主催により、行政懇談会が開催されています。<br>④これまでの方法では、毎回同じような参加者が集まる傾向であったことから、幅広い市民が参加できる手法を検討してまいりました。今後は、オンラインの活用など、若い方や仕事をしている方が参加しやすいような手法をを検討して参ります。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 室厚美委員 | 2-3、<br>2-4 | 「事業の達成度」と「成果指標の達成度」分布にかなり差がある気がする。 | 企画課 | 「事業の達成度」は、計画策定時に設定した各事業の目標に対する評価であり、５年間で実施した具体的な事業を総合的に評価したものです。「成果指標の達成度」は、令和２年の実績値が目標値を達成した指標を客観的に評価したものです。「成果指標の達成度」は施策の成果を測るための指標であるため、指標だけでは評価できない各事業の実施状況や内容について、「事業の達成度」で評価しております。 |
| 室厚美委員 | 2-4 | 出生率・数ともに目標値を大きく下回っている。このため、計画を根本から見直す必要があるのではないか。特に財政事情が一層悪化することが懸念される。 | 企画課 | 令和元年度の出生数及び合計特殊出生率は目標値を大きく下回っており、この数値を現状値として「後期基本計画」の目標値を設定しています。今後の人口動態や財政運営状況を注視しつつ、効果的な人口減少対策を推進してまいります。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 県内でも人口減少が激しい当エリアにおいて、観光産業を中心とした交流人口増加は、地域経済を盛上げるためにも欠かせない戦略と思います。 | 観光みなと課 | 館山市観光協会や観光関連事業者等と共に観光振興を図っていきたいと考えています。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 94 で2019 年のオランダ・us トライアスロン事前キャンプを機に自転車愛好家などの来訪者が多くなり交流人口活発化したことは評価できる。継続現状維持となっているが、拡充してもよいのではないかと思います。 | スポーツ課 | 事前キャンプの実施は、交流人口の拡大に大きなインパクトがあるものと認識していますが、台風の被害やコロナ禍によりスポーツ観光客数は低迷しており、まずは、以前の状況に戻す必要があるため、今回は継続現状維持としました。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 95の館山若潮マラソン大会については、令和2年度は中止となりましたが、従来から人気のスポーツイベントであり、アフターコロナで再開が期待されます。ワクチン浸透しても従来と全く同様の開催とはいかないと思われることから、専門家の意見を集約し、一定の感染対策を講じたうえで、安心･安全のイメージを持たせて、集客を図っていく必要があると思います。 | スポーツ課 | 先行きが不透明なコロナ禍にあって、若潮マラソン大会の在り方について熟慮、検討したうえ、令和３年度の第42回館山若潮マラソン大会は、リアルオンラインでの開催とします。リアルオンラインで開催することで、安心・安全を担保しながら分散型の集客に寄与できるものと考えています。コロナ収束後は従来の形に戻して実施します。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 100 に記載のある通り、平成30年度の 「渚の駅たてやま」 の入館者数は増加しており、一定の成果がでていることはすばらしいと感じます。当地での重要な集客装置の一つである 「渚の駅たてやま」は、今後も魅力を高めていくべきであり、令和2年度ににっぽん丸寄港実現など、集客コンセプトのアイデアを出し、盛り上げを図っていくことを期待します。方向性としては拡充の方向でもよろしいかと思います。 | 観光みなと課 | 今後も「“渚の駅”たてやま」における魅力ある展示やクルーズ船や官公庁船などの館山夕日桟橋の利活用と併せた集客を図ります。<br>方向性につきましては、これまで継続して拡充を図って来た中でコロナ禍を迎え、展示できていない物や寄港できていない船舶などもございますので今期につきましては現状維持とさせていただき、次期計画策定時に合わせた拡充を計画していこうと考えています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 105 の 「北条海岸BEACHマーケット」 令和元年度平均来場者が5 千人を超え、回を重ねる毎にイベントの認知度も向上しているということで、すばらしい成果だと思います。アフターコロナでの再開が期待されますが、やはり一定の感染対策を講じたうえで、進化した形での開催がされることを期待します。事業No. 117 にある「南総里見まつり」 についても9 万5 千人の集客力がある重要なイベントであり、同様です。 | 観光みなと課 | 「北条海岸BEACHマーケット」については、民間団体の「館山市海岸活性化プロジェクト推進協議会」が年２回実施しています。令和３年度６月開催予定であった１回目はコロナの影響で中止としましたが、１１月開催の２回目はコロナ対策を講じた開催を検討しています。<br>「南総里見まつり」については、館山市観光協会を事務局とする実行委員会で実施しており、令和３年度は「新しい生活様式」下での代替事業が開催予定となっています。館山市としては、補助金交付等により支援しています。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 140 の館山市の預託融資による資金支援は多く実施しました。取引のある先はもちろん、新規に取引を開始しての支援にも多く取組み、地域に広く貢献できていると感じています。今後もこうした支援策が講じられた際には、積極的に活用して、地域事業者への支援に繋げていきたいと思います。 | 雇用商工課 | 今回の前澤友作館山応援基金を活用した新型コロナウイルス感染症対策資金については、市内各金融機関の協力もあり、多くの事業者を支援することができました。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 145 に、企業立地奨励金16件交付や124件の企業誘致に向けた企業訪問を実施したことについては、高く評価できます。しかしながら誘致の実現には至っていないということで、結果としては残念であります。企業誘致は直接地域経済にプラスであり、移住者の増加にも繋がります。昨今のテレワークの拡大といった流れからしても、チャンスは高まっていると思います。進出時の税優遇など、進出メリットを再考し、より強力に推進していくことを期待したいです。 | 雇用商工課 | 昨年度（令和２年度）、当市に企業進出したファミリー向けキャンプ施設については、企業訪問経由ではないものの、市への相談に対して助言等を実施したことから、企業誘致の実績としてカウントいたしました。<br>引き続き、企業立地奨励金や雇用促進助成金の交付等、企業進出に繋がる取組を展開していきたいと考えています。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 事業No. 154 の館山イコールさかなクンのイメージ増進により、館山市のＰＲ が図れていることは高く評価できることです。継続拡充方針となっており、その通り更に深堀していくことを期待します。 | 観光みなと課 | 今後も内容を精査しながら事業を継続・拡充していきたいと考えています。 |
| 小髙栄二委員 | 2-4 | 資料2-4 の移住世帯数・移住者数を見ると然程伸びはないものの、コロナ禍でテレワークが広まり、全国的に観光地を中心に移住者が増加している傾向にある。館山でも移住者の住宅ローンの申し込みが増えてきており、アフターコロナでもデジタル化や働き方改革の流れから、移住ニーズは衰えないと思われる。移住してきた子供たちの教育の充実は、移住魅力を高めるうえでも重要であり、事業No. 68 小中一貫校「房南学園」 開校を達成したことは評価できる。継続拡充方向とされており、今後にも期待したい。 | 教育総務課<br>雇用商工課 | 今後の更なる少子化を見据えた中で、将来的な学校規模について「学校再編基本指針」を策定し、保護者や地域とともに検討を進めていくとともに、コロナ禍でのテレワークの広がりや移住ニーズを捉え、効果的な事業展開ができるように努めていきたいと考えています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 小髙栄二委員 | 2-4 | 事業No. 181には、サイクルツーリズム事業推進する中、館山市観光協会でスポーツタイプのレンタサイクルを開始し客層が広がったとのコメントがあり、来訪者のニーズを的確に捉えた施策であった証左であり、高く評価できます。サイクリングに適した当地の立地特性からも、一層のサイクリングイベントや環境整備について進めていくべきと考える。継続現状維持となっているが、拡充してもよいのではないかと思います。 | 観光みなと課 | 館山市内で実施されているサイクルイベント等について、令和元年房総半島台風やコロナ禍により中止や規模縮小されているため、今期につきましては現状維持とさせていただきましたが、アフターコロナ等の状況を踏まえて、次期計画策定時に事業の拡充も検討していきたいと考えています。<br>なお、令和３年度において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、館山駅（館山市観光協会）の拠点機能を強化するため、レンタサイクルの車種の充実、着替えスペースの完備を実施しています。 |
| 小髙栄二委員 | 2-3 | 観光戦略の一つとして地域商品の確立は重要です。特に、南房総エリアに訪れる観光客の一番の目的は、アンケート結果によると 「地元のおいしいものを食べる」 です。事業No. 107 に 「館山炎り海鮮丼」 などご当地グルメのブランド化の推進が図られていると記載されていますが、「館山炙り海鮮丼」 のアピールは弱く、あまり地域で身近に食することができないように感じています。市と事業者とで連携して対策を講じていく必要があるように思います。事業No. 123の「料理コンテスト」の参加者が年々減少しているところからも、「食」に対する推進が弱いと感じます。 | 食のまちづくり推進課 | 館山炙り海鮮丼は、観光商品として開発され、市外からのお客様をターゲットにしており、令和2年度はコロナの影響により提供数が減少していますが、それまでは年間平均1万食以上を提供しています。商品を提供している館山新・ご当地グルメ推進協議会のこれまでのアンケート結果によりますと、4割以上のお客様が館山炙り海鮮丼を目的として館山に来ておられ、毎年4000人以上の入込客への効果があります。今後も更なる集客力の向上の為、リニューアル等の提案を行っていく考えです。<br>また、今後の展開については、現在、整備を進めている食のまちづくり拠点施設を中心に、館山炙り海鮮丼をはじめとした地域の食の魅力のPR力を高め、食のまちづくりの更なる推進を図ってまいります。 |
| 秋山一夫委員 | 2-2 | コロナ禍等における大変な状況下であったが、事業達成度が高く良好と思う。 | 企画課 | ご意見ありがとうございます。後期基本計画も事業達成度を高めていけるよう事業を推進してまいります。 |
| 秋山一夫委員 | 2-2 | 事業において、関連性のある課との連携をし共に展開できる体制が重要に思う。 | 企画課 | ４つの重点プランに即して、部局横断的かつ重点的に取り組む体制の構築を推進いたします。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 石渡秀嗣委員 | 2 | 終息を見ないコロナ禍の中、進捗の評価ができない状況です。変わってコロナ禍の中、浮き彫りになった。環境の変化の中でさらに重みをます目指すべき将来の姿（４項目）そして環境の変化に対応する新たな政策（将来の姿）を描くことも求められていると思います。集うというコミュニティのあり方を再考することが必要だと考えます。 | 企画課 | 多くの指標が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。大きな社会情勢の変化を迎えている中で、時代の潮流に対応し、『笑顔あふれる自然豊かな「あったかふるさと」館山』の実現に向け、邁進してまいります。また、その実現にあたっては、新しい生活様式の定着やオンラインの活用等により新しいコミュニティの構築も検討してまいります。 |
| 田中真由委員 | 2-3 | 切り割りをレンタサイクルで走る観光客が増えていると感じる。自転車通学の高校生たちもいる。切り割り部分のみならず、その前後もカーブが多く雑草が生い茂っていて危険と感じる。引き続き県に働きかけていただき、整備がより迅速に進むようにしてほしい。（№163） | 都市計画課 | 引き続き千葉県に対し「国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会」において整備要望をしていきます。<br>また、館山市としても、本路線を管理する安房土木事務所に対し整備及び適切な維持管理について要望していきます。 |
| 田中真由委員 | 2-4 | 食育の推進はいまどき、どの自治体も行っているので、もっと未来につながる食育に取り組んでほしい。具体的には、「給食に地域の農産物を使うこと」「何が使われているかを知ること」の2点を提案したい。また、これによって、40(後期高齢者医療運営事業)、60(特色ある学校づくり)、73(ふるさと体験活動の推進)にもつなげられるため、横展開の可能性も考えてほしい。<br>当方は移住してきて、これまで都心の“そのへんのお店”で食べてきたものより、館山・南房総の食材でつくった日々のごはんのほうが圧倒的においしいことを知って衝撃を受けた。大人になって都心部に出たこどもたちが同じ経験をしたとき、生まれ育った館山で当たり前に食べていた食事がいかに鮮度よくおいしいものだったのか、都心の食を支えているのが自分たちのふるさとであり、そこに従事している方々がいるという事実が脳裏をかすめるような、館山ならではの「包括的食育」を目指してほしい。また、それがひいては「働く世代のUターン」にもつながる可能性があるのではないか。（№53） | 教育総務課 | 毎日提供される学校給食は児童生徒にとり身近な食であり、学校での食育推進として給食の活用は効果的な取組と考えます。委員の意見については給食を提供する学校給食センターと連携を図り、食材費や食数確保などの制限はありますが、効果的な取組を検討していきます。 |
| 田中真由委員 | 2-4 | 電子図書館サービスの存在を初めて知った。時代の流れをくんだよいサービスと思うので、周知をがんばってほしい。（№77） | 図書館 | 引き続き電子図書館サービスの周知に努めます。 |
| 溝口かおり委員 | 2 | 思いもよらなかったコロナウイルス感染拡大により、さまざまな分野で影響がありましたが、いずこも同じ条件ではあると思います。前向きに後期基本計画の実施に取り組んでいただきたいと思います。 | 企画課 | 世界的な新型コロナウイルス感染症拡大は未曾有の出来事であります。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて後期基本計画の推進に取り組んでまいります。 |
| 溝口かおり委員 | 2-3 | 昨年通訳ガイドとして観光庁の「インバウンド研修講師」研修を受け、講師として認定された経験から申し上げます。観光庁では本年度も「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」を希望する自治体、事業主などを募集するようですので、ぜひご活用いただければと思います。（№110外国人観光客受け入れ態勢等の整備） | 観光みなと課 | 台湾をメインターゲットに専門の職員を配置のうえ、館山インバウンド協議会と協力し、インバウンド観光を推進しています。今後、必要に応じて、「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」の活用も検討したいと考えています。 |

# 第２期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見

<table>
<tr><th>提案委員</th><th>資料番号</th><th>委員からの意見</th><th>担当課</th><th>各課回答</th></tr>
<tr><td>石井敏宏委員</td><td>3-1</td><td>宿泊客数であるがコロナ・台風以前から、鴨川市の方が倍近くの宿泊実績がある。鴨川シーワールドという有名観光スポットがあるからなのか、あるいは他の理由があるからなのか分析してもらいたい。</td><td>観光みなと課</td><td>両市の宿泊施設における客室数に大きな差異はないものの、収容人数が未調査のため、正確な結論ではありませんが、鴨川シーワールドの来場者が宿泊数に大きな影響を与えていると考えられます。<br><br><table>
<tr><th>観光入込客数等</th><th>館山市</th><th>鴨川市</th></tr>
<tr><td>調査施設数</td><td>82</td><td>80</td></tr>
<tr><td>総施設数</td><td>162</td><td>125</td></tr>
<tr><td>収容人数</td><td>5,737</td><td>未調査</td></tr>
<tr><td>客室数</td><td>1,625</td><td>1,672</td></tr>
<tr><td>宿泊客数</td><td>390千人</td><td>691千人</td></tr>
<tr><td>観光入込客数</td><td>1,946千人</td><td>2,441千人</td></tr>
<tr><td>宿泊率</td><td>20.0%</td><td>28.3%</td></tr>
<tr><td>鴨川シーワールド</td><td>-</td><td>840千人</td></tr>
</table><br>※表の調査施設数から客室数は令和２年度、宿泊客数から鴨川シーワールドは令和元年度の数値です。<br><br>■分析<br>※単純計算はできないが、宿泊率28.3%を鴨川シーワールド来場者に掛け合せると238千人程度の宿泊者と推計できます。<br>※館山市の観光入込数が最大の施設は、博物館分館の209千人です。</td></tr>
<tr><td>石井敏宏委員</td><td>3-2</td><td>地域おこし協力隊委嘱者累計数に関しては、任期後に館山市に定住した人数も目標にすべきだと思う。</td><td>企画課</td><td>KPIとして設定した「地域おこし協力隊委嘱者累計数」は、「基本目標③”若者”の夢と希望をかなえる～若者の元気アップ～」に到達するための経過を測定する指標です。本指標は、『「ひと」の流れ』をつくるためのKPIとして、総合計画審議会での審議を踏まえ、設定したものです。<br>任期終了後に定住した人数については、毎年調査を行い確認しておりますので、多くの協力隊が定住できるようサポートしてまいります。</td></tr>
</table>

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員 | 3-1 | 長らく「0」が続いた企業誘致に「1」が付いたのは良い事だ。これがきっかけになると良いが、企業誘致は今までと異なる手法が必要だと思う。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業誘致に関しては、今までと異なる手法の検討も必要だと考えています。<br>令和３年度においては、ワーケーションの拠点施設の整備を支援し、ＩＴ関連企業等の継続的な企業合宿の誘致を目指すとともに、ワーケーションを体験するイベントを実施し、ライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり等を切り口として、企業誘致を推進していきます。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-1 | 起業、出生数は増える兆しが見える。若い移住者が、ここで子育てをしながら起業してくれたら良いと思う。 | 雇用商工課 | 今年度においても、子育て世帯の移住者を支援する移住定住促進助成金や、新規起業者を支援する起業支援補助金等を通じて、移住定住や起業を促進していきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-1 | 介護職員研修に魅力がない理由を分析したか。 | 高齢者福祉課 | R2年度の実績が少なかった理由は、新型コロナの影響で、研修の実施自体が少なかったことによります。<br>例年ですと、研修受講者は一定程度おり、研修の魅力というより、介護職への就労希望、資格取得の需要によって受講者数が変動するものと思われます。<br>そのため、介護職への就労希望者の増及び多様な介護人材確保のため、介護の仕事の魅力発信やキャリアアップに関する普及啓発等を進めていきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 新規漁業就業者１９名は素晴らしいが、定着しているか。 | 農水産課 | 新規就業者については、各漁協の新規加入正組合員数及び定置網やまき網漁業等の雇用型漁業事業者に聞取りし、今年度も継続して就業している人数（R2に新規就業したが年度内に退職した人数は含まず）を集計したものです。<br>令和２年度は、休止していた定置網漁業の再開により雇用された新規就業者（６名）が含まれており、人数が多くなっている要因となっています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 移住促進のPRは他の自治体も盛んに行っているので差別化が必要。 | 雇用商工課 | 現在、YouTubeを活用し、移住相談業務委託先であるＮＰＯ法人おせっ会が空き家バンク等の動画配信をしているほか、館山市公認チャンネル『館山TV』において移住相談等の動画を配信しているところです。<br>ご意見のとおり、ＰＲにあたっては他の自治体との差別化に努めていきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 「食のまちづくり」における農水産業の魅力向上について、大学等との連携をもっと進めることにより、アイデアが出てくる可能性がある。 | 食のまちづくり推進課 | 総合戦略では「産官学の連携によるブランド化」に取り組むこととしており、こうした大学との連携については、効果的なものであると認識しています。<br>市も参画している食のまちづくり協議会と武蔵野美術大学とで協定を結び、食のまちづくりの推進に取り組んでおり、いちじくのブランド化事業を進めています。<br>今後も、多様で優れたアイデアを活用するなど、産官学連携を具体的な手法の1つとして食のまちづくりを推進してまいります。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 認定農業者、農業法人を増やすことは、もっと真剣に取り組むべき。５年後には、農業従事者が一気に減少する可能性がある。 | 農水産課 | 農業者の高齢化や後継者不足による農業従事者の減少は、重要な課題でありますので、重点的に取り組んでいきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 教職員のICT活用指導力は早期に１００％とするべき。 | 教育総務課 | 研修等により、教職員のＩＣＴスキル向上を目指していきます。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | 自主防災訓練実施を促すために地域への働きかけを行ったか。 | 危機管理課 | 避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）を地元消防団、地区本部員と共に行うことで、災害対応をふまえた訓練を実施している。また、各自主防災会や町内会等に対し「自主防災組織活動マニュアル」（改訂版）を配布したりするなどし、訓練を促進するよう働きかけを行っています。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員 | 3-2 | | 公共施設を減らす検討は進んでいるか。 | 行革財政課 | 具体的な方針を固めた施設もある一方、旧小学校など、今後の活用方法を見出す必要がある施設については、民間事業者からの提案を基に具体的な協議を進めるなどの「新たな方策」についても検討を進めます。 |
| 室厚美委員 | 3-1、3-2 | | 数値目標とKPIの違いがわかりにくい。同じようなこと（3-1、3-2）をやる必要があるのか。統合できないか。タイトル（指標）が同じでも数値が違ったりして評価することが難しい。 | 企画課 | 数値目標は令和７年度に達成すべき最終目標値を設定したものであり、KPIとは、各施策の効果を検証する数値で、ゴールに至るまでの過程をチェックする指標であるので、統合はできません。 |
| 小髙栄二委員 | 3-2 | 館山市公式ホームページ閲覧件数 | 3，000,000回の目標値に対して、令和2年度4，541,247回の実績と大きく上回った要因はなんでしょうか？ | 情報課 | 大きな要因は、新型コロナウイルス関連の閲覧数の増です。<br>（閲覧数1,000,000回以上） |
| 小髙栄二委員 | 3-2 | 館山市公式ホームページ閲覧件数 | 補助金・交付金等の問い合わせが多かったと予想されますが、地域振興に繋がるヒントがもしあるのなら、活用していくべきと思います。 | 情報課 | 補助金・交付金等の市ホームページへの掲載は有効と考えますので、今後も掲載していきます。 |
| 小髙栄二委員 | 3-2 | 企業訪問（トップセールス）件数 | 6か年で延べ240件、1年当たり40件訪問の目標について、実現に拘りを持って取り組んで頂きたいと思います。その際には、税優遇といった進出メリット策も検討頂きたい。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業訪問については目標実現に拘りをもって取り組んでいく必要があると考えており、引き続き、企業立地奨励金や雇用促進助成金の交付等、企業進出に繋がる取組を展開していきたいと考えています。 |
| 石渡秀嗣委員 | 3 | | コロナ禍の中、評価できないが、見直しは必要と思われます。 | 企画課 | 多くの指標が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。ワクチン接種の状況や治療薬の開発状況等、社会情勢を総合的に勘案し指標の見直し等について検討してまいります。 |

# 地方創生推進交付金事業についての意見

| 提案委員 | 分類 | 委員からの意見 | 担当課 | 各課回答 |
|---|---|---|---|---|
| 石井敏宏委員 | 海辺エリア | 景観計画を策定したが、文化財の保全などの実行が伴っていないように感じる。 | 都市計画課 | 景観計画に基づいた具体的な実行はこれまでありませんが、文化財の保全について意識醸成を図り、「景観重要建造物」の指定制度の活用等について検討していきます。 |
| 石井敏宏委員 | 関係人口 | 長い目で見る必要があると思う。現状は国からの交付金で大きな予算が組めているが、交付金がなくなったとしても続けていけるように、小さな予算でもやっていけるように今から考えて欲しい。 | 雇用商工課 | 委員ご指摘のとおり、国からの交付金に頼らずに事業を継続していくことが重要であり、将来的に事業が自走できるような仕組み等を考えていきます。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 海辺エリア | 観光入込客数はコロナ禍でありやむを得ないが、企業誘致はこれまでの手法を見直すべき。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業誘致に関しては、今までと異なる手法の検討も必要だと考えています。令和３年度においては、ワーケーションの拠点施設の整備を支援し、ＩＴ関連企業等の継続的な企業合宿の誘致を目指すとともに、ワーケーションを体験するイベントを実施し、ライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり等を切り口として、企業誘致を推進していきます。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 海辺エリア | 沖ノ島の再生事業は、今後の市内の森林整備のためのモデル事業と考えて取り組むと良いと思う。また、アマモの再生事業も、他の海域での藻場の再生のためノウハウを共有できると良いと思う。 | 観光みなと課 | 沖ノ島の森林再生やアマモ再生活動を通じて関係諸団体等の連携を施すことにより、館山市の豊かな自然環境を後世に残せるように努めていきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 海辺エリア | 海岸美化のエリアが鏡ケ浦に限られている。西岬、平砂浦も視野に入れ、県と協議しながら清掃活動を進めるべき。 | 観光みなと課 | 海岸管理者である千葉県と協議・連携し、西岬、平砂浦エリアも含めた海岸環境美化を検討していきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 海辺エリア | 日本中に恋人の聖地がある。他との差別化はできているか。 | 企画課 | 「鏡ヶ浦から富士の見えるまち館山」として認定されており、市内３か所がスポットになっています。他の恋人の聖地は施設ごとに認定されていることが多い中、地域として認定されていることから差別化されていると考えます。地域振興のため、より一層の情報発信に努めてまいります。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木ひとみ委員 | 関係人口 | 様々なマリンスポーツのリピーターを把握する必要があると思う。二拠点居住や移住につながる可能性が大きい。 | 雇用商工課 | 様々なマリンスポーツのリピーターを把握することは難しいですが、実際の移住相談の際には、マリンスポーツを好まれる方への対応ができるようにしています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 関係人口 | R元年台風でボランティアに入った人たちでその後も関係性を持っている人が多い。切れてしまっている人たちへ、観光での来訪の呼びかけも効果があるのではないか。 | 雇用商工課 | R元年台風の際、多くの方々がボランティアで来られ、様々な形で支援をしていただきました。これまでご支援いただいた多くの方々が引き続き当市を応援していただけるような方策や、関係人口の創出・拡大に繋がる取組について検討し、実践していくことが重要であると認識しています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 関係人口 | リノベーション以外でも新規開業が見られる。地元商店がこれに刺激されて事業の見直しを進めて欲しい。移住者に頼るのではなく、地元の人たちの変わっていこうという力が必要ではないか。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、地元の人たちの変わっていこうという力が必要になると考えており、効果的な事業の実施に努めていきたいと考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 関係人口 | リノベーションを進める人たちも、地域とのつながりを深める必要があるのではないか。地元と移住者が協力し合うことが大切だと思う。 | 雇用商工課 | リノベーションまちづくりは、単に遊休不動産を活用してまちを活性化することだけではなく、関係人口の創出や、幸せな未来を自分たちの手で作り上げていこうとする取組であり、行政や関係者のみならず、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら、多様な担い手、幅広い世代の参画を得ながら、将来にわたって持続可能な取組として進めていく必要があると考えています。 |
| 鈴木ひとみ委員 | 関係人口 | 市内には、海辺、里山、農村それぞれの魅力がある。多くの市民がインフルエンサーとなって発信することを促す取り組みを行うと良いのではないか。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、多くの市民に館山市の魅力を発信いただくことが望ましいと考えていますが、まずは行政が率先して、館山市公認YouTubeチャンネル『館山TV』による動画配信を実施しているところです。 |
| 室厚美委員 | 海辺エリア | 海岸美化対策について、ボランティアがもっと活動しやすい環境づくり（拾ったごみの処理方法を周知したり、ゴミゼロの日などの呼びかけを増やす等）が必要ではないか。 | 観光みなと課 | 海岸管理者である千葉県と連携するとともに、市ホームページや広報紙等を活用し、海岸美化対策の環境づくりを継続・拡充していきたいと考えています。 |
| 室厚美委員 | 海辺エリア | 海まちフェスタは中止なのに相当程度有効なのか。 | 観光みなと課 | これまで交付金事業として継続し、館山湾を活用した海辺のまちづくりイベントとして周知され、参加者も増加傾向にあること。また、令和２年度は中止となりましたが、令和３年度以降の事業についても市外の方へ海の魅力を発信可能なイベントとして継続して行く方向で考えていることなどから相当程度有効と判断しました。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 室厚美委員 | 海辺エリア | 企業誘致はコロナ以前も低調でトップセールスのあり方など、根本的に見直す必要があるのではないか。リモートワーク推進の流れをつかんでほしい。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業誘致に関しては、今までと異なる手法の検討も必要だと考えています。<br>令和３年度においては、ワーケーションの拠点施設の整備を支援し、ＩＴ関連企業等の継続的な企業合宿の誘致を目指すとともに、ワーケーションを体験するイベントを実施し、ライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり等を切り口として、企業誘致を推進していきます。 |
| 今成和幸委員 | 海辺エリア | ＪＲ館山駅周辺から鏡ケ浦へと続く、海辺エリアの素晴らしい景観は、館山らしさを感じさせる、市の重要な“宝”である。<br>社会全体で人口減少が進んでいく中、地域の活性化を図るためには、関係人口や交流人口を増やしていくことが必須。館山市を何度も訪れたいと思うファンを増やし、関係人口を増加させるためにも、海辺エリアの魅力に磨きをかけ、館山市のイメージ、ブランドを高めていくことが重要である。<br>地方創生推進交付金を活用した事業としては、令和２年度で終了となるが、引き続き、海辺エリアの景観の維持形成と海辺の環境改善に継続して取り組んでいただきたい。 | 企画課<br>観光みなと課 | ご意見ありがとうございます。市としても関係人口、交流人口の増加は重要なものであると考えております。基本構想に基づき美しい自然と快適な生活が調和明日持続真能なまちづくりを推進してまいります。 |
| 今成和幸委員 | 海辺エリア | 東京～館山航路利用推進事業についても、高速ジェット船を利用して館山を訪れることは、海がより身近に感じられ、鉄道や自動車による来訪とはまた異なった魅力がある。新たな観光需要を生み出す可能性があるが、まだ航路利用に対する認知度は低いと思われるので、引き続き、利用促進に向けた取組を進めていただきたい。 | 企画課<br>観光みなと課 | ご意見ありがとうございます。高速ジェット船の利用促進に向けた取組を検討してまいります。 |
| 小髙栄二委員 | 海辺エリア | 事業No．２、海岸環境の美化が図られ、安心･安全に利用できる海岸環境が保たれたことは高く評価できます。鏡ケ浦に面した道路沿いの土地が空き地が多いのに加え、今一つ活用がなされてなく、海岸線の整備とシナジー効果のある、一体となった整備が必要なのではないかと感じています。検討頂ければと思います。 | 観光みなと課 | 今後も継続して海岸環境の美化、利用者の安心・安全に努めていきます。 |
| 小髙栄二委員 | 海辺エリア | 事業No．5、館山湾を活用した海辺のまちづくりイベント 「たてやま海まちフェスタ」については、早めに復活を検討すべきです。一定のコロナ対策は必要となりますが、対策を講じ、安心･安全をアピールすれば、集客も十分見込めると思います。 | 観光みなと課 | 委員の事業に対する評価ありがとうございます。本事業については、令和２年度については新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。<br>令和３年度も実行委員会により開催の有無を検討しましたが、感染症の拡大が収束していない状況での開催は困難と判断し、中止となってしまいましたが、次年度以降も市外の方へ海の魅力を発信可能なイベントとして継続して開催を検討して行く予定です。 |
| 小髙栄二委員 | 海辺エリア | 事業No．7、移住支援について、多くの相談業務を実施し、移住実績も残しており、高く評価できます。事業継続の方針ですが、足許での移住ニーズの高まりは非常に高く、強化しても良ではと感じます。 | 雇用商工課 | 移住支援の取組強化についてのご意見をいただき、ありがとうございます。<br>コロナ禍の状況もあり、移住ニーズの高まりをより強く感じているところです。<br>引き続き、ＮＰＯ法人おせっ会及び関係機関と連携した移住・定住相談体制の充実等、移住・定住の促進に繋がる支援や移住しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 羽山敏雄委員 | 海辺エリア | この事業の移住者数について、大きな実績を上げているように見受けられます。担当者、NPOメンバーの方々の丁寧なご対応によるものと推察しますが、それ以外に移住者のニーズにマッチする点が変わりましたら教えてください。また、ニーズにマッチせず移住を断念する方もあると思います。その理由もわかりましたら教えてください。 | 雇用商工課 | 以前と変わらず、海辺のロケーションやマリンスポーツに魅力を感じて移住される方が多いという状況です。<br>また、害虫・野生動物が多いという理由から移住を断念された方もいらっしゃいました。 |
| 秋山一夫委員 | 海辺エリア | 植栽で四季の花々と青い海の観光立市館山のイメージアップとリピーターの増加が必要と考える。 | 観光みなと課 | 館山市のイメージアップやリピーター増加、さらには癒し効果向上のため、今後も植栽を通じた「花のまちづくり事業」を継続していきたいと考えています。 |
| 秋山一夫委員 | 海辺エリア | 継続的な植栽管理と環境美化が大切と考える。 | 観光みなと課 | 今後も、鏡ケ浦通りやフラワーライン等の植栽を通じた景観形成、環境美化事業を継続していきたいと考えています。 |
| 田中真由委員 | 関係人口 | 取り組みとしておもしろく、いくつか見たが企画も尺の長さも見やすかった。しかしながら再生回数が多いとは言えず、被リンクや適切な出稿まで視野に入れて設計してはどうか？やっていたらすみませんという感じだが、やっているならもう少し再生数が伸びてもいいように感じた。また、再生回数のKPIももうけてはどうか？（事業№3） | 雇用商工課 | ご意見ありがとうございます。<br>令和３年度は、新シリーズとして、タイムリーな市政情報等の紹介や館山で活動する人材やこれから活躍が期待される若者にスポットを当てた対談企画をスタートし、内容の充実を図っているところです。<br>しかしながら、現状では十分な再生回数とは言えませんので、取組の周知や再生回数の増加に繋がる工夫や検討をしていきたいと考えています。 |
| 溝口かおり委員 | 海辺エリア | ●シンボルロード美化事業<br>海岸道路は、だいぶ整備されてきた印象があります。また、ここにきていくつか魅力的なお店がオープンしているようです。魅力ある街並みのコンテンツとして、センスある店舗の進出が続くといいなあと思っています。「海を活かした雇用創出事業」からの補助金を利用していただくなど、そんなビジネスをぜひ応援していただきたい。出店に際しては、景観を損なわないためのガイドライン、規制のようなものはもうけているのでしょうか？シンボルロードを中心とし、一度来た人に「また来たい」と思わせる、調和の取れた美しい魅力的な街並みにしていきたいですね。 | 建設課<br>企画課 | 夏の海水浴シーズンや各イベント等で訪れる観光客が、初めに館山市を感じることができる場所であり、海辺空間の景観の一部を形成していることから、引き続き植栽管理を実施することにより、環境美化に努めてまいります。<br>景観の規制については、平成29年度～30年度に実施した「計画計画策定事業」により策定した『館山市景観計画』において、良好な景観形成のための制限を設けています。<br>交付金事業としては終了しますが、引き続き景観まちづくりを進めてまいります。 |
| 溝口かおり委員 | 海辺エリア | ●海辺の環境改善事業<br>「きれいな海」を誇る館山市にとって、一番大事な事業と考えます。今後も力を入れて取り組んでいただければと思います。 | 観光みなと課 | 今後も海岸管理者である千葉県と情報共有し、効果的な環境改善事業を継続・拡充していきたいと考えています。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 溝口かおり委員 | 海辺エリア | ●航路利用促進<br>アフターコロナで利用客が戻ってきたときに、しっかり集客できるよう、今から準備が必要かと思います。できたら、インバウンド対応もぜひお願いしたいと思います。 | 観光みなと課 | 本事業につきましては、令和２年度までが交付金事業となっており、令和３年度以降は市の単費による事業となりますが、既にアフターコロナを見据えた誘客について船舶事業者と協議を始めているところです。また、インバウンド対応につきましてもインバウンド協会などと連携しながら事業を展開したいと考えています。 |
| 溝口かおり委員 | 海辺エリア | ●海を生かした雇用創出事業<br>他の事業はある程度の結果がだせていますが、企業誘致に関しては、達成度が低迷したままですね。都心からアクセスもよくなったのに、なぜなのでしょう？企業誘致補助金は申請自体がなかった、ということは、お誘いしているのにそっぽをむかれた格好ですね。どこかで方向性が違っているのか、タイミングの問題なのか、そもそも無理な課題なのか、なんらかの形で原因を究明し、対策を取る必要があるのかなと思います。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業誘致補助金はこれまで申請自体が無かったこともあり、令和３年度に企業誘致に繋がる補助金の内容を見直し、テレワーク等に利用可能な拠点施設整備とワーケーション推進を併せて取り組む事業者に対象経費の一部を補助することとしました。<br>具体的には、ワーケーションの拠点施設の整備を支援し、ＩＴ関連企業等の継続的な企業合宿の誘致を目指すとともに、ワーケーションを体験するイベントを実施し、ライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり等を切り口として、企業誘致を推進していきたいと考えています。 |
| 溝口かおり委員 | 関係人口 | ●リノベーションまちづくり推進事業<br>移住定住施策とともに、常に動きがあって大変期待している事業です。移住定住施策と連携して、情報を共有したり情報発信を一緒にするなど、できるといいのではと感じました。ぜひ大きいビジョンをもって取り組んでいただきたいです。 | 雇用商工課 | 令和元年度及び令和２年度に実施したリノベーションまちづくりの取組をきっかけに、実際に移住された方がおり、その方は起業もされています。<br>引き続き、『後期基本計画』の重点事業でもあるリノベーションまちづくり事業を推進し、移住定住の促進に繋げていきたいと考えています。 |
| 溝口かおり委員 | 関係人口 | ●企業誘致推進<br>他の事業はある程度の結果がだせていますが、企業誘致に関しては、達成度が低迷したままですね。都心からアクセスもよくなったのに、なぜなのでしょう？企業誘致補助金は申請自体がなかった、ということは、お誘いしているのにそっぽをむかれた格好ですね。どこかで方向性が違っているのか、タイミングの問題なのか、そもそも無理な課題なのか、なんらかの形で原因を究明し、対策を取る必要があるのかなと思います。 | 雇用商工課 | ご意見のとおり、企業誘致補助金はこれまで申請自体が無かったこともあり、令和３年度に企業誘致に繋がる補助金の内容を見直し、テレワーク等に利用可能な拠点施設整備とワーケーション推進を併せて取り組む事業者に対象経費の一部を補助することとしました。<br>具体的には、ワーケーションの拠点施設の整備を支援し、ＩＴ関連企業等の継続的な企業合宿の誘致を目指すとともに、ワーケーションを体験するイベントを実施し、ライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくり等を切り口として、企業誘致を推進していきたいと考えています。 |
| 溝口かおり委員 | 関係人口 | ●関係人口創出・拡大推進事業<br>Youtubeはたいへん有効なツールだと思います。連鎖性があるので（ひとつ見始めると次のおすすめが出てきて、ついつい次々見てしまう）、「次も見てみたくなる」短い動画をぜひ定期的に発信してください。隙間時間で気軽に見られる、短いものがいいのではと思います。 | 雇用商工課 | 令和３年度は毎月２本の動画を投稿をしているところですが、ご指摘いただいた内容も踏まえながら、今後も定期的に発信していきたいと考えています。 |

# その他全般的な意見

| 提案委員 | 分類 | 委員からの意見 | 担当課 | 回答 |
|---|---|---|---|---|
| 石井敏宏委員 | その他 | 会議資料も希望者にはデータでの送付にした方がいい。 | 企画課 | データによる会議資料送付は効率的な手段ですので、データ送付方法について効果的な方法を検討いたします。 |
| 石井敏宏委員 | その他 | この意見提出書も文章が長くなった場合は、枠に入りきらない。パブリックコメントの用紙は長くなると枠も延長されて使い勝手が良いので、真似て欲しい | 企画課 | ご意見を参考に、今回の意見書から設定を変更いたしました。 |
| 石井敏宏委員 | その他 | 資料が充実しているのはありがたいが、ポイントがつかみづらい。ポイントとは政策的争点であるから、議論が分かれるところや、改善要望が多いところを明示して欲しい。 | 企画課 | ご意見ありがとうございます。今後の会議資料作成時の参考にいたします。 |
| 室厚美委員 | その他 | 資料の文字が小さすぎて読むのに苦労しました。膨大な資料、職員の労力も大変なものだと思いますが、何とか簡素化できないものでしょうか。 | 企画課 | 毎回様々なご意見をいただいておりますので、少しずつ改善しておりますが、膨大な資料の枚数を減らすため、会議資料をA4で統一したところ、文字が小さくなってしまいました。引き続き、資料の改善に努めます。 |
| 小髙栄二委員 | その他 | 観光地域づくり法人 「DMO」 の立ち上げをした方がいいと思います。 | 観光みなと課 | 観光地域づくり法人は、地域の観光関連事業者などやる気のある事業者が主体的に参画した上で、設立されることが望ましいと考えており、館山市としては、これらの事業者を支援していきたいと考えています。 |
| 田中真由委員 | その他 | 企画の皆様、取りまとめおつかれさまです！あらためて俯瞰して読むと、多くの事業が単独化していて縦割りになっているように感じました。それぞれにKPIを立てていく必要性があるためかもしれませんが、ひとつの小さな事業は他のさまざまな事業につながっていることをさらに意識してみていただけると、今後の館山にとっていいかもしれません | 企画課 | ご意見ありがとうございます。後期基本計画においても、施策の分野ごとに設定した「7つの基本目標」と分野横断的かつ重点的に取り組む「4つの重点プラン」を組み合わせることにより、各分野の施策の連携・調整を図りながら、戦略的なまちづくりを進めてまいります。 |

# 総合計画審議会（書面開催）委員意見【当日資料】

| 委員氏名 | 意見 | 担当課 | 回答 |
|---|---|---|---|
| 片方義明委員 | 前期基本計画、総合戦略、支援金事業へのご意見・回答は多岐にわたる問題が網羅されていたかと思います。随所にコロナの影響が関わらざるを得ない特異なタイミングだったかと強く感じました。<br>国勢調査の速報は大変興味深かったです。 | 企画課 | 令和２年初頭から、新型コロナウイルス感染症という未曽有の事態に見舞われ、世界中で大きな混乱がみられました。館山市もその例に漏れず、予定していた事業の中止などで、大きな停滞を余儀なくされました。<br>国勢調査速報値の結果を踏まえて、アフターコロナを見据えた館山市の発展に尽力してまいります。 |
| 吉田南子委員 | 会議資料に直接関係のあることではないと思いますが、同じような業務に複数の課でそれぞれの動きをしていることがある。（例：公共交通に関して、企画課、高齢者福祉課、館山市社会福祉協議会）少しずつ横の繋がりができ、連携して取り組むという体制ができているとは感じていますが、包括的に取り組んでいく仕組みがあるととても良いと思います。<br>相談の窓口となったところがまずは受け止め、どこと連携し誰をまき込んで行けば良いのかを考えていくと良いのではないでしょうか。 | 企画課 | ご意見ありがとうございます。後期基本計画では、館山市の特性や強みを最大限に活かすことで、弱みも克服していくことを趣旨とした４つの重点プランを設定しました。<br>重点プランに基づいた担当課をまたいだ包括的に取り組むための効果的な仕組みづくりを推進してまいります。 |
| 石渡秀嗣委員 | コロナ禍の中であり新たな課題の発生と今までの計画の見通しが発生するのはやむを得ないことだと思いますが、一概に「コロナ禍なので…」は「？」です。<br>こんな時だから必要ないこと、こんな時だからこそより進めなければいけないことを明らかにしながらの評価をする必要があると思います。 | 企画課 | ご意見ありがとうございます。コロナ禍による影響以外の要因についても分析を重ね、効果的な施策の実施を進めてまいります。<br>また、アフターコロナを考慮した政策評価によって、必要な施策の選択と集中ができるよう検討してまいります。 |